

# 7/15 開催 第12回食料無料支援に101名来場 個別のお届けは34名

第12回となる食料無料支援プロジェクトは、猛暑の中7月15日に開催。前日7月14日には、医療生協本部会議室で品物の袋詰めを行いました。6月下旬、県社会福祉協議会が子ども食堂ネットワークに配布した保存食の詰め合わせが15箱、移動子ども食堂「くるくるごはん804」より回ってきて、開けてみたところ、大阪市がコロナ感染の自宅療養者に配布した在庫でした。期限切れも混じていましたが、資金不足の今は大助かり！



大阪のコロナ自宅療養者用の1箱  
結構入っています。右は期限切れ。



7月15日(土)8時より県社会福祉センター体育館に搬入開始。スタッフより先に待っている方がチラホラ…。コロナ感染が第5類となり、会場の入場制限が解除されたため、今回は冷房のきく体育館内に待合椅子を設置し、暑い廊下で待つことのないように工夫し順番カードを渡しました。なかなかグッドなアイデアで、順番争いや苦情が少なくスムーズでした。



いつもボランティアしてくれる病院リハ  
島本 OT と初参加の龍田 ST



1~2 か月期限切れの加工食品も大人気



順番カードの受け取りは103名、うち2名入場せず101名来場となりました。来られない方の分ボランティアさんや職員が34名にお届けしました。

今回は、県連社保委員会の「何でも相談会」を別室で開催。光陽居宅の長谷川ケアマネ、終活相談を受けている組合員の川畑さんが担当。クリニック新職の高瀬事務が見学研修。相談は5名でどなたも切実で、数十分ずつの相談に。今後もたくさんの方の困っている方に手を差し伸べることができるよう、相談会も開催していきます。

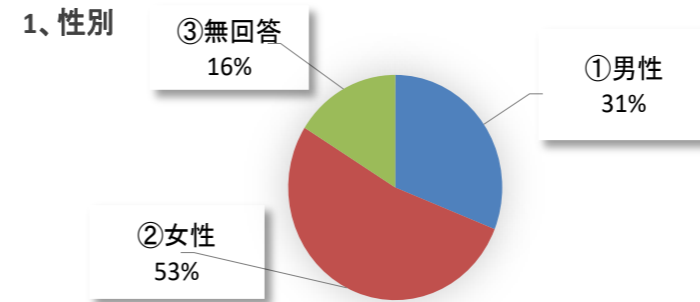
左:新職の高瀬事務と長谷川ケアマネ  
右:福井市の川畑さんがそれぞれ相談対応。



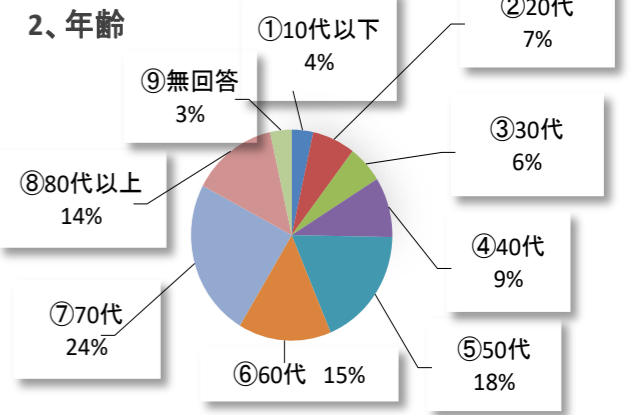
## 来場者アンケート結果から (回収 87名)

~今回の来場者は「女性・60代以上・一人暮らしが半数以上、食事支援や給付金を求め、貧困・経済政策を期待しておられました。~

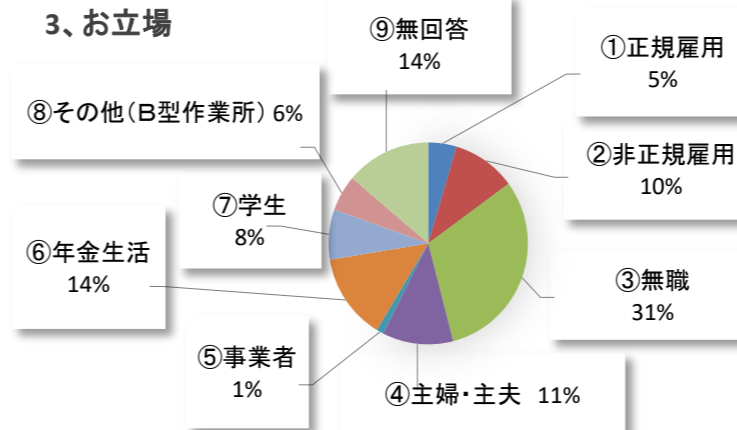
### 1、性別



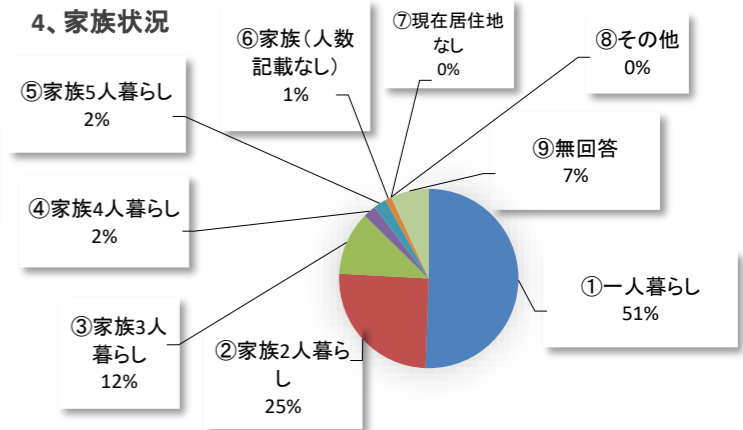
### 2、年齢



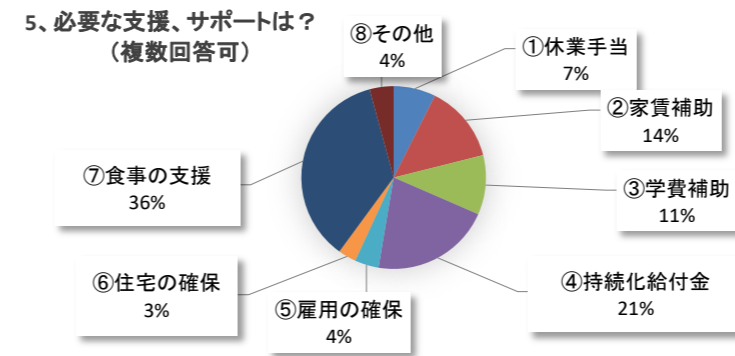
### 3、お立場



### 4、家族状況



### 5、必要な支援、サポートは? (複数回答可)



### 6、政治に頑張ってほしいこと(複数回答可)

